

建設候補地選定の評価項目等に関するアンケート調査票

■問1：建設候補地の評価項目についてお伺いします。

建設候補地を比較検討する際の、評価項目の重要性について5段階で評価してください。

(あなたの考えに最も近いもの1つに、○を記入してください。)

なお、この設問は候補地そのものについて問うものではなく、比較検討する際の評価項目の重要度を調査するものです。

庁舎位置の基本方針	評価項目	そう思う	どちらかというところ思う	どちらでもない	どちらかというところ思わない	そう思わない
		←				
利便性	(1) 庁舎へのアクセス性について 市役所は、アクセス時の交通混雑が少なく、三陸沿岸道路のインターチェンジなどから車で行きやすい位置、駅、バス停からの距離が近い位置にあるべきだと思いますか。	5	4	3	2	1
	(2) 周辺地域等からの高低差について バリアフリーの観点から、市役所の建設位置は周辺地域からの高低差がなるべく小さい場所であるべきだと思いますか。	5	4	3	2	1
	(3) 周辺の公共・公益施設等との近接性について 市役所に行った際に、他の公共・公益施設での用事や商店街での買い物等ができるよう、市役所はそれらの施設に近い位置にあるべきだと思いますか。	5	4	3	2	1
防災上の安全性	(4) 災害における拠点性及び他の防災拠点等との連携について 災害が起きたときのことを考え、市役所は幹線道路や防災センター、市立病院等の他の災害拠点施設と連携しやすい位置にあるべきだと思いますか。	5	4	3	2	1
	(5) 自然災害に対する安全性について 自然災害における危険性を考慮し、市役所は津波や洪水、土砂災害等の危険が少ない場所にあるべきだと思いますか。	5	4	3	2	1
	(6) 有事の際に庁舎が孤立しない位置について 市役所は、災害が起きたときに、長時間にわたり孤立しない場所にあるべきだと思いますか。	5	4	3	2	1

庁舎位置の基本方針	評価項目	評価軸				
		5 そう思う	4 どちらかといえば思う	3 どちらでもない	2 どちらかといえば思わない	1 そう思わない
市全体のまちづくりとの関係性	(7) これまで進められてきた上位計画等や復興等を見据えた新たなまちづくりを考慮した位置について 市役所は、現在進められている復興まちづくりを始め、今後のまちづくりに貢献できる位置にあるべきだと思いますか。	5	4	3	2	1
	(8) 地域経済や周辺商店街との関係について 市役所は、周辺商店街等に経済波及効果をもたらす位置にあるべきだと思いますか。	5	4	3	2	1
	(9) 法令上等の制約について 市役所を建設する位置は、建設する際の手続きにおける各種法令上の制約をできるだけ受けない場所にあるべきだと思いますか。	5	4	3	2	1
経済性	(10) 事業費が抑えられる位置について 市役所は、既存建物の解体費や移転費用等も含めた建設総事業費をできるだけ抑えられる場所に建設すべきだと思いますか。	5	4	3	2	1
	(11) 事業スケジュール 現在の市役所が古く、耐震補強もなされていない中、新しい市役所はできるだけ早く完成させることが可能な場所に建設すべきだと思いますか。	5	4	3	2	1
	(12) 将来の同敷地内建替え 将来的に、新市役所を再度建替える必要が出てきたときに、同一の場所に建て替えが可能である場所に市役所は建設すべきだと思いますか。	5	4	3	2	1
<input type="checkbox"/> 自由記載（あなたはどのような場所に市役所があれば良いと思いますか。） 【記載例】公共交通機関で行きやすい場所がよい。 						

■問2：新庁舎の機能・性能についてお伺いします。

市では、新庁舎の建設に当たり、5つの新庁舎の機能・性能の基本方針を定めました。

基本方針に基づき、あなたが新庁舎に必要と考える機能・性能について、ご意見をお書きください。

基本方針1	市民の利便性の向上や協働空間を提供する庁舎 ◇市民が親しみを持って気軽に利用しやすい庁舎とするとともに、まちづくりの拠点として、多くの市民が集う協働の場を提供します。
基本方針2	誰にでもやさしいユニバーサルデザインの庁舎 ◇バリアフリーを徹底するとともに、エバーグリーンを導入し、市民をはじめ外国人や職員も含めたすべての人々が安心して利用できる庁舎とします。
基本方針3	市民の安全・安心を支える防災機能が充実した庁舎 ◇他の防災関連施設との役割分担を明確にした上で、災害時の物資や人の参集場所等として活用できるホール等の必要な防災機能を充実します。
基本方針4	環境にやさしくランニングコストを考慮した庁舎 ◇他の施設等の模範となるよう、省エネ、省資源、創エネ、自然エネルギーの導入を検討し、庁舎をできるだけ長く使える工夫や周辺環境への配慮など、環境負荷の低減を目指します。
基本方針5	機能的で効率的な行政機能等を実現する庁舎 ◇市民の利便性を最優先した行政サービスを提供するとともに、ICT（情報通信技術）を積極的に活用し、将来の社会変化等にも柔軟に対応でき、維持管理運営費の縮減にもつながる、機能的で効率的な行政機能を提供します。

自由記載（あなたはどのような市役所（新庁舎）だったら良いと思いますか。）

【記載例】多目的トイレや授乳室があるとよい。地域の木材を建物の内装などに活用して欲しい。

■問3：あなたご自身のことについてお伺いします。

あてはまるもの1つに，○を記入してください。

性 別	① 男性	② 女性		
年 齢	① 10代	② 20代	③ 30代	④ 40代
	⑤ 50代	⑥ 60代	⑦ 70代以上	
お住まい（中学校区）	① 唐桑	② 大島	③ 鹿折	④ 新月
	⑤ 気仙沼	⑥ 条南	⑦ 松岩	⑧ 面瀬
	⑨ 階上	⑩ 大谷	⑪ 津谷	⑫ 市外

※ いただいたご意見は全て今後の新庁舎建設基本構想策定の参考とさせていただきます。
プライバシーの保護はもとより，回答内容によってご迷惑をおかけすることはございません。

ご協力ありがとうございました。

